

# 途中がおもしろい！舟運と陸路の途中下車推進 事業

—No.39 ふじみ野市—

## 【事業の目的】

既存の観光事業に加え、当市の歴史的建造物を収益性のある観光拠点として整備し、若者及びファミリー層向けの事業展開を行います。当市に新たなにぎわいと人の流れが創出されたところに、併せて子育て支援策を活用し、若者及びファミリー層から「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と選ばれるまちとなれるよう、当市の住環境の良さを整え、広く周知します。

## 【事業の内容】

川越（小江戸）と東京（江戸）を結ぶ舟運の要所として発展し文化財として保存活用されている「回漕問屋福田屋（福岡河岸記念館）」と、同じく陸路の要所として発展し文化財として保存活用してきた「旧大井村役場」を、新たな観光拠点として整備します。

また、既存の観光事業及び両拠点で実施する収益事業を連携し、市全域での活性化を図ると同時に子育て支援策を実施することにより、若者及びファミリー層の移住・定住を促進します。

## 【事業年度】

平成 28 年度～

## 【予算額(千円)】

120,098千円（平成 28 年度）

## 【財源】

地方創生拠点整備交付金（国）、補正予算債、公共施設整備基金（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

当市の生産年齢人口は 1990 年をピークに減少傾向が続く一方、老年人口は一貫して増加が続き、総人口も 2030 年を目途に減少に転じるという将来展望が推計されており、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響に対する取組が必至です。加えて、市民意識調査では「ふじみ野市には世間に知られた産業や観光資源などが乏しい」との指摘があります。そこで、にぎわいの創出と地域活性化により市外からの新たな人の流れを創るとともに、当市の恵まれた住環境や充実した子育て支援策を広く周知し、若者及びファミリー層の移住・定住促進を図るため、事業を実施することとなりました。

## 【事業のPRポイント】

「回漕問屋福田屋」では、明治期の建物としては珍しい3階建ての離れをはじめ、回漕問屋の趣きが凝縮され、当時の隆盛を感じるとともに、今回の整備によって伝統文化の体験講座や地産品販売等を実施し、入館料に加えて参加費や売上などの収益と駅周辺にとどまっているにぎわいエリアを更に拡大します。

また、「旧大井村役場」では、これまで年4回程度の無料一般公開を実施する程度でしたが、昭和初期の建物特有のレトロでおしゃれな佇まいを生かした事業展開を実施していきます。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

平成 29 年度は両施設とも整備を実施し、平成 30 年度から活用を予定しています。

## 【参考資料】



「回漕問屋福田屋（福岡河岸記念館）」



「旧大井村役場」

〔 連絡先 〕

社会教育課

049 (220) 2088